

「白鶴 灘の生一本(灘酒研究会)720ml 瓶詰」 発売

白鶴酒造株式会社（本社：神戸市、社長：嘉納健二、資本金：4億9,500万円）は、「白鶴 灘の生一本 720ml 瓶詰」（数量限定）を10月1日（水）から全国で発売します。この商品は当社の独自開発酒米である「白鶴錦」を100%使用しております。芳醇な香りとキレの良さがある純米酒で、やや辛口、後味がすっきりしたきれいな酒質が特長です。

なお、この商品は、「灘酒研究会」(※)が行う灘酒の品質向上を目的としたプロジェクトの一環として、灘酒研究会の中の酒造メーカー9社（大関、菊正宗酒造、剣菱酒造、櫻正宗、沢の鶴、太田酒造、辰馬本家酒造、日本盛、白鶴酒造）が各社の技術で醸した「灘の生一本」シリーズとして発売します。本商品のラベルに表記している酒質に関する表現については「灘酒研究会 酒質審査委員会」が審査し、認定された適切な表現だけを表示しています。

また容器には、本年度も環境配慮から、回収されたガラス瓶からできるカレット（再生ガラス）をガラス原料の90%以上使用してつくられた“エコロジーボトル”を採用しています。

詳細については以下のとおりです。

■商品概要



商 品 名	白鶴 灘の生一本（灘酒研究会）
原 材 料 名	米（国産）・米こうじ（国産米）
容 量	720ml
アルコール分	15度以上16度未満
日本酒度	+3
酸度	1.4
アミノ酸度	1.1
参考小売価格	1,170 円
荷姿	6本入段ボール詰

上記価格は1本あたりの価格で、消費税は含まれておりません。

※「灘酒研究会」について

「灘酒研究会」は、1917年（大正6年）に発足。灘五郷および近隣地区の酒造技術者が集まり、日本酒醸造の技術向上に取り組んでいる研究グループです。